

『未来は今、手の中に』

高等支援学校桃花台学園 校長 若林 正人



校長室

桃花台学園に赴任以来2年が経過しようとしています。今年度も新型コロナウイルス感染症の予防対応により、教育活動に多くの制限があった1年間でした。しかし、修学旅行を始め、秋の大収穫祭、桃翔祭といった行事を形態の工夫をしながら全て実施することができました。生徒全員の自覚ある行動と保護者の皆様の御協力があったからこそ結果だと思えます。

さて、この2年間はコロナ禍の2年間であったのと同時に、誰もがこれまでになかった経験をした2年間でした。それは、2020年開催予定だった夏の東京オリンピック・パラリンピックがコロナの影響で2021年に延期され、2022年は予定どおり冬の北京オリンピック・パラリンピックが開催され、2年続けてのオリンピックイヤーとなったことです。両大会とも日本中のだれもが興奮と感動を覚えた大会となりました。アスリートが前評判どおりに結果を出す場合はもちろんですが、特に、失敗する可能性のある、より難度の高い技にあえて挑戦する姿、まさに自分の限界に挑み、自分に打ち克とうとする姿は、多くの人に勇気を与えたと思います。

私はこの2年間、桃花台学園の生徒の皆さんを見ていてオリンピックと同じような想いを感じてきました。日々の学校生活を過ごしながら、様々な経験を重ね、時には失敗や挫折もありながら、資格取得に奮闘し、就職という目標に向かって進んでいく皆さんとオリンピックの姿が重なってくるのです。今、皆さんは、努力してきた結果を振り返り様々な想いをもつでしょう。しかし、振り返って欲しいのは、結果ではなく自身の成長や努力のプロセスです。未熟だった自分がここまで成長できた、ここを頑張った、これをやりきった等々、皆さん一人一人が達成感を伴った振り返りをできること。これが学校、私たち教師の役割だと思っています。

卒業生の皆さん、「卒業」は皆さんが3年間の学校生活を頑張り抜いた証です。自らの努力で作った自分の「未来」を勝ち取ったのです。しかしこの卒業は通過点にすぎません。4月からは、社会人1年生として新たなスタートが待っています。周りで支えてくれる同僚や上司もいるでしょうが、仕事につけば、どうしたら良い仕事ができるか全て自分で考え行動しなければなりません。そしてその行動の結果が皆さんの未来につながっていきます。希望ある未来のためには、強い意志と覚悟が必要です。産業技術科という専門学科で学んだ態度や姿勢を忘れずに、周りの人から信頼され、愛される人間になってください。また、桃花台学園が社会から支持され、応援していただける「憧れの学校」であるためにも、皆さんが社会で思う存分に活躍し、大いに社会に貢献されることを期待しています。

私たち教職員は、皆さんの人生の大切な時期にかかわりをもてたことを「誇り」に思っています。そして卒業生の皆さん一人一人を、心から「誇り」に思っています。

それでは、輝かしい人生の新たなステージを迎える皆さんの前途に 幸多からんことを。また、校歌の一節にもある「希望の道」を正々堂々胸を張って、力強く社会人として歩むことができますよう、これからもずっと

CHALLENGE Tokadai

チャレンジ桃花台

Vol.13

2022/3/4



3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

桃花台学園で学んだ知識と技能を生かし、
社会の中で大きく羽ばたいてください。

INFORMATION TOKADAI

令和4年度4・5月の主な予定

- | | | | |
|---------------|----------|-------------------|-------------------|
| ◇新任式・第1学期始業式◇ | 4月 7日(木) | ◇桃花ダイスキマーケット◇ | 5月10日(火) |
| ◇入学式◇ | 4月 8日(金) | ◇修学旅行(3学年) [予定] ◇ | |
| ◇PTA総会◇ | 4月29日(金) | | 5月15日(日)～5月18日(水) |

CHALLENGE Tokadai

第13号 令和4年3月4日発行

山梨県立高等支援学校桃花台学園
〒406-0026 山梨県笛吹市石和町中川1400
TEL 055-263-7760 FAX 055-263-0741
URL <http://www.toukadai.kai.ed.jp/>



アビリンピックやまなし2021



パラリンピック感謝状贈呈式

校長先生から内定通知をもらいました
その後のツーショットです



内定通知書の授子

それぞれの選んだ新しい世界で、
社会人としてのスタートをきる3年生。
勇気をもって挑んでいこう！

『花は咲く』

3学年主任 後藤裕吾



3月4日、春の訪れを感じる良き日に、令和3年度卒業生、30人全員が無事、本校を巣立つことができたことに、喜びを感じています。

これまで、本校の教育活動にご理解をいただき、子供たちの成長過程において共に歩まれた保護者の皆様のおかげだと思っております。心より厚くお礼申し上げます。

3学年30人の最後の年は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、生徒たちにとって一大行事である『修学旅行』や『桃翔祭』、『秋の大収穫祭』が実施できたことは、大きな実りにつながりました。行事を成功させることを目標に他者とコミュニケーションをとり、時にはぶつかり合うこともありましたが、仲間の気持ちを考える機会もたくさんありました。

ある生徒の『修学旅行新聞』に「みんなの笑顔がたくさん見られた修学旅行だった。他人の喜びが自分の喜び・・・」という言葉があり、深く感動をしました。

振り返ると、どちらかと言えば大人しく、人のかかわりに自信がなく消極的なイメージがあった集団であったことを思い出します。特に友達関係においては、コミュニケーションが上手にとれず、思い悩んだ生徒は多かったことと思います。それが、今では気心知れた気の合う仲間が集ったグループがたくさん見られ、話に花が咲いている場面をよく目にするようになりました。親友と呼べる友ができた生徒もいるのではないのでしょうか。

また、特に専門コースの授業や部活動において、最上級生としての立ち振る舞いや、言動が見られるようになったのも大きな変化でありました。

あの少し控え目な30人が変わったことを実感しています。それは、苦手な事から目を背けずに克服しようと「変わろう!」と前向きに取り組んできた一人一人の取り組みの証だと思えます。



この先、色々な壁にぶつかることもあるでしょう。記憶に新しい冬季北京オリンピックで、3大会連続金メダルの期待がかかった羽生結弦選手の「報われなかったけど幸せ。人生不条理な事はあるけど、それでも前を向いて歩いていく。」という言葉がありました。諦めそうになったり、挫けそうになっても、それでも前を向いて歩き続けてほしいことを強く願っています。修学旅行の震災講話で学んだ、『働く上で大切な十か条』を胸に、それぞれの花が咲くことを期待しています。

働く上で大切な十か条
 ↳スバリソート(ハイアンスより)
 一 ます笑顔
 二 返事は はい
 三 礼儀は 正しく
 四 身なりは 清潔に
 五 動作は きびきび
 六 言葉は はきはき
 七 態度は 明るく
 八 言われたことは すぐ実行
 九 どんな人にも 親切に



進路学習の様子

進路の取組みは、1年生から「働くこと・業種を学ぶ」「自分の適性を知る」3年生で「進路先を決める」と一段一段積重ねてきた結果です。進む道は違いますが、3年間で築いた仲間の絆は宝物。

本当につらい時には弱音を言ってもいいから…

令和3年度 3年生就労予定一覧

番号	就 労 先	番号	就 労 先
1	(株)NSD ハケ岳ファーム	14	(株)しまむら ファッションセンターしまむら
2	THK(株)	15	(有)正徳寺温泉 初花
3	(株)アイシン	16	住友電工デバイス・イノベーション(株)
4	(株)石和観光ホテル 慶山	17	中部食品(株)
5	(株)いちやまマート	18	テルウェル東日本(株)
6	(株)オキノ	19	(株)ビバホーム
7	(株)蒲郡オレンジパーク 山梨FUJIフルーツパーク	20	ヤマト運輸(株)
8	(株)協和富士	21	(公財)山梨厚生会 塩山市民病院
9	甲府青果(株)	22	(公財)山梨厚生会 山梨厚生病院
10	甲府ビルサービス(株)	23	山梨トヨペット(株)
11	(株)甲府明電舎	24	(福)かしの福祉社 就労支援事業所かしのみ
12	(株)サイゼリヤ	25	(株)スマイルサポート 学びの事業所ユニバやまなし
13	(株)塩沢		



陸 上 部



太 鼓 部



サ ッ カ ー 部



美 術 部



バ ス ケ ッ ト ボ ー ル 部



合 唱 部

部活動の軌跡(大会結果)

合唱部:ヴォーカルアンサンブルコンテスト 銅賞
 サッカー部:第7回全国知的障害特別支援学校高等部選手権大会出場権獲得(大会開催中止)
 太鼓部:山梨県高等学校芸術文化祭 郷土芸能専門部発表会 奨励賞
 バスケットボール部:山梨県障害者スポーツ大会 チャンピオンシップの部 優勝
 美術部:UTY教育美術展 優秀賞(個人)
 陸上部:山梨県高等学校総合体育大会 陸上競技出場

SNSの活用とスマートな社会への適応を 生徒指導主事 渡邊 孝

SNSとは、ソーシャルネットワーキングサービス (Social Networking Service) と略され、登録された利用者同士が交流できるWebサイトの会員制サービスのことで。皆さんがなじみのあるサービスとしてLINE、Instagram、TikTokなどがあります。その他にも、学校の学習場面で使用しているTeams、会社や組織などで利用が広がっているZoomなどもその一つで、その種類や機能は年々増え続けています。気軽に便利なボタン一つであらゆることのできるため、多種多様なトラブルを起こしたり、巻き込まれたりすることがあります。「良かれと思い、友達との写真をSNS上に掲載して拡散されてしまった」、「友達とのやり取りの文章をWeb上の掲示板に掲載して、誹謗中傷を浴びてしまった」など、自分では思いもよらないことが起こることもありますので、使用の際は慎重に丁寧に、もう一度見直したりして活用しましょう。また、SNSの仕組みを理解しておくことと、個人情報管理をしっかりとすることが大切です。気軽にクリックしたり承認したりすることで、知らないうちにWebサイトの会員になってしまう、身に覚えのない商品が家に届くなどの被害が出ています。そうした事案に巻き込まれないためにも、自分だけでなく、身近な人にも確認してもらおう中で、承認事項をしっかりと読んでから、承認することが大切です。さらにSNSを利用するときにはIDやPW (パスワード) が要求されます。それを自分で考え、覚えておき、他人に漏らさず、自分で管理して適切に使用することが大切です。気をつけなければいけないのが、同じIDやPWを長く使用していると、他人にのっとり不正に使われる可能性があります。IDやPWは期間を決めて適宜変更することも必要です。

今や、現代社会は、SNSによるコミュニティが知らず知らずに形成され、いつ間にかそれに支配されています。これからの時代はSNSを便利に快適に活用し、社会に適応できるスキルを身につけていく必要があります。SNSに左右されるのではなく、自分でコントロールしながら来るSociety5.0 (超スマート) 社会に適応できるような生活を営んでいってください。

